

中崎遊園地の歴史と文化

文化・スポーツ室

中崎遊園地の沿革

弥生時代以降、河口部に浜堤が形成され始める。

承和12年（845年）に淡路の石屋浜と明石浜との間に初めて船と渡子を置く。

奈良時代、浜堤間低地に面する相生町で、土馬を用いた祭祀が行われる。

「今昔物語」にも明石の浜で旅の法師が病氣退散の祭りを行った記述がある。

江戸時代には、明石城築城とともに港がつくられる。

元和7年（1621年）明石港の掘削が始まる。浜堤間低地を浚渫し、東西に長い港をつくる。港内に砂が入り港が埋まると、小笠原忠政が毎年3月3日の大潮の日の人足を出させ、鋤簾で砂を引き揚げさせた。明石は「西国調法の船入り」と記される港となる。

堀川の南に水主組屋敷があり、北には藩主の御座船を置く船宮があった。

明治36年（1903年） 明治31年（1898年）に明石公園が御料地となり廃園したことに伴い、代替公園として、明石町が兵庫県から無償借地し、「明石中崎遊園」として開設する。

明治44年（1911年）4月 中崎公会堂竣工

明治～昭和 海岸沿いに衝濤館、錦明館等の料理旅館が建ち並ぶ。

大正15年（1926年） 明石市が民有地を買収し、公園造成を行う。

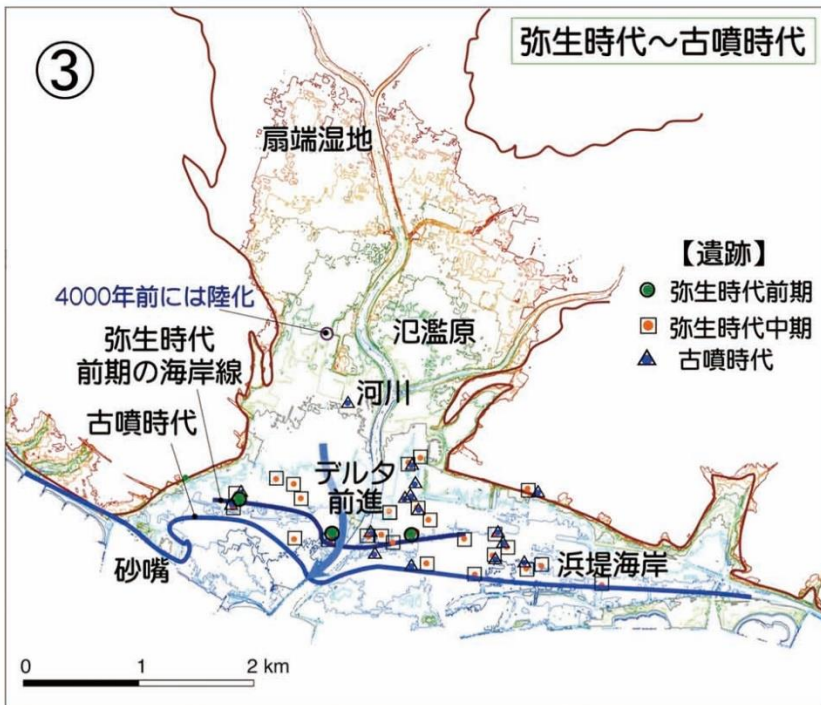
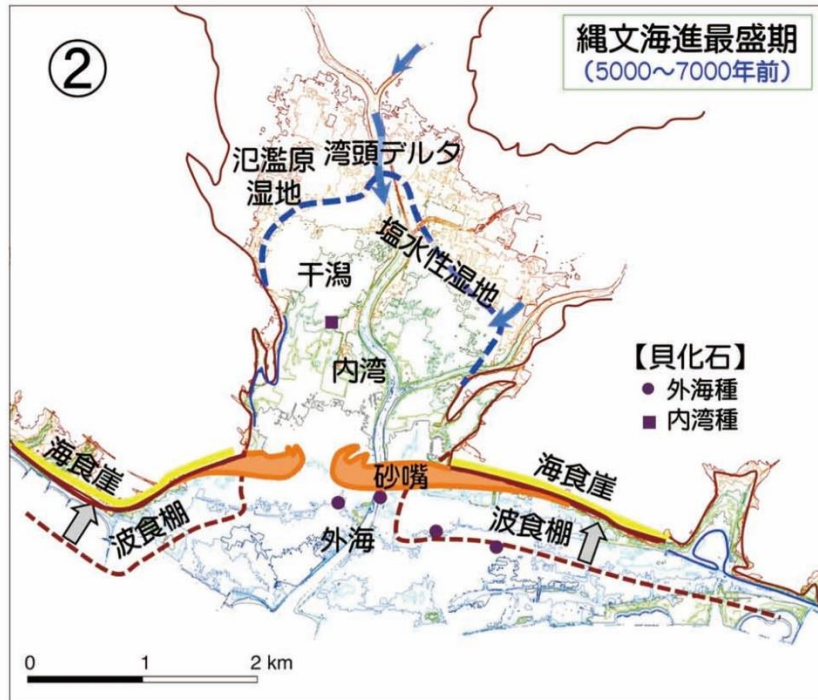
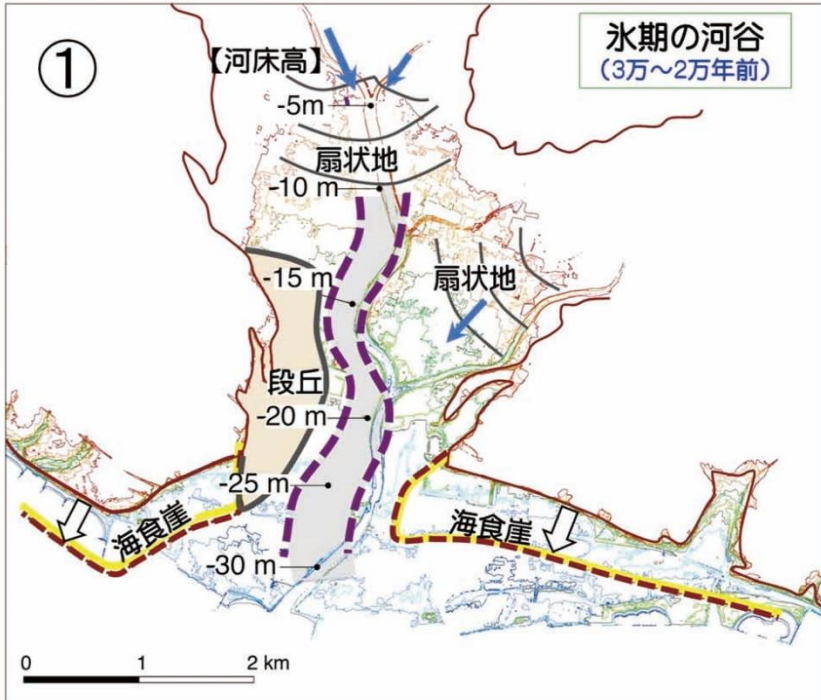
昭和12年（1937年）9月 中崎遊園地にラヂオ塔設置

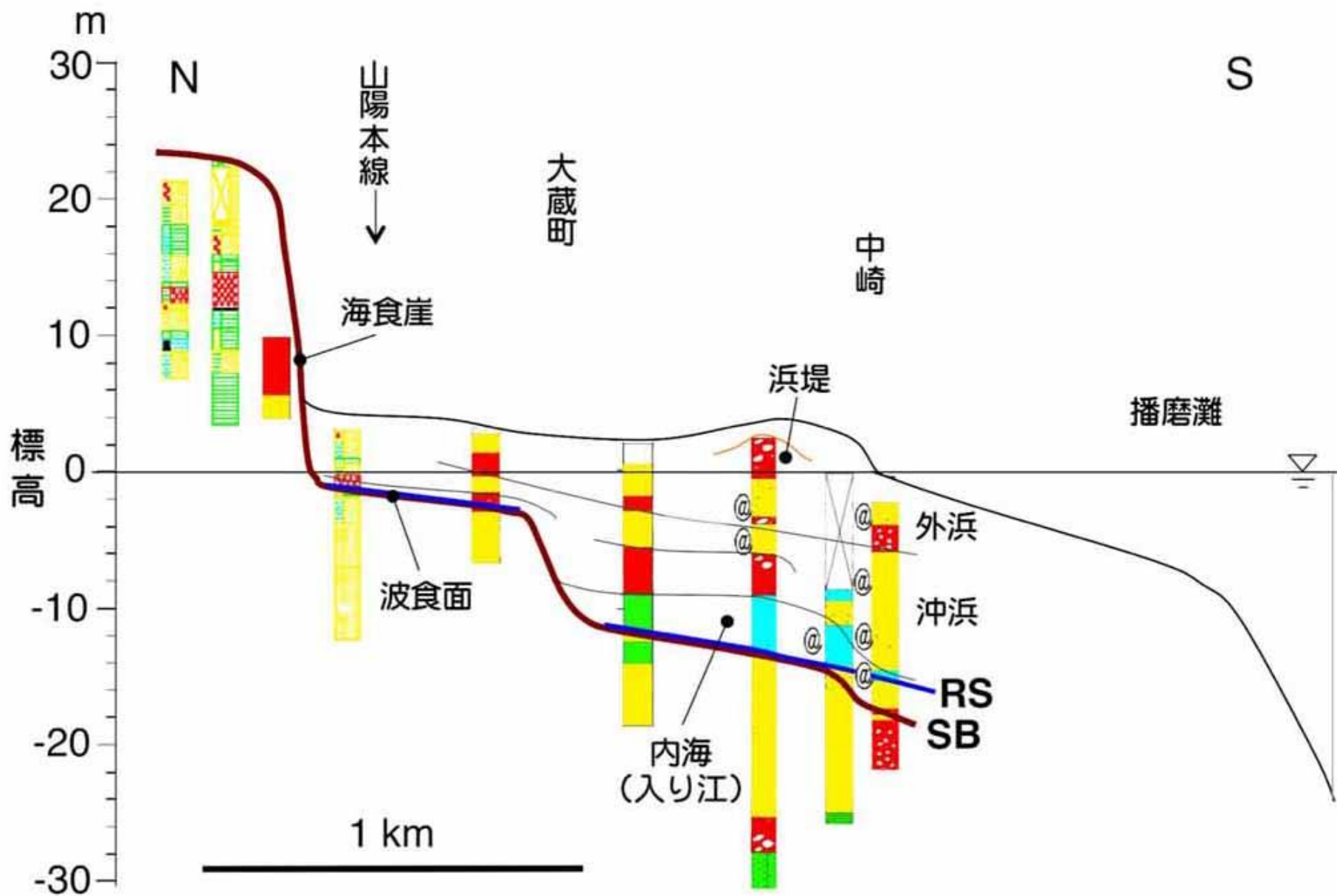
昭和32年（1957年）4月 明石市立水族館 オープン（～昭和47年）

昭和39年（1964年） 明石市が中崎遊園地南側の海面の埋め立て実施

平成25年（2013年） ラヂオ塔が国登録有形文化財に登録

令和4年（2022年） 中崎公会堂が市の有形文化財に指定





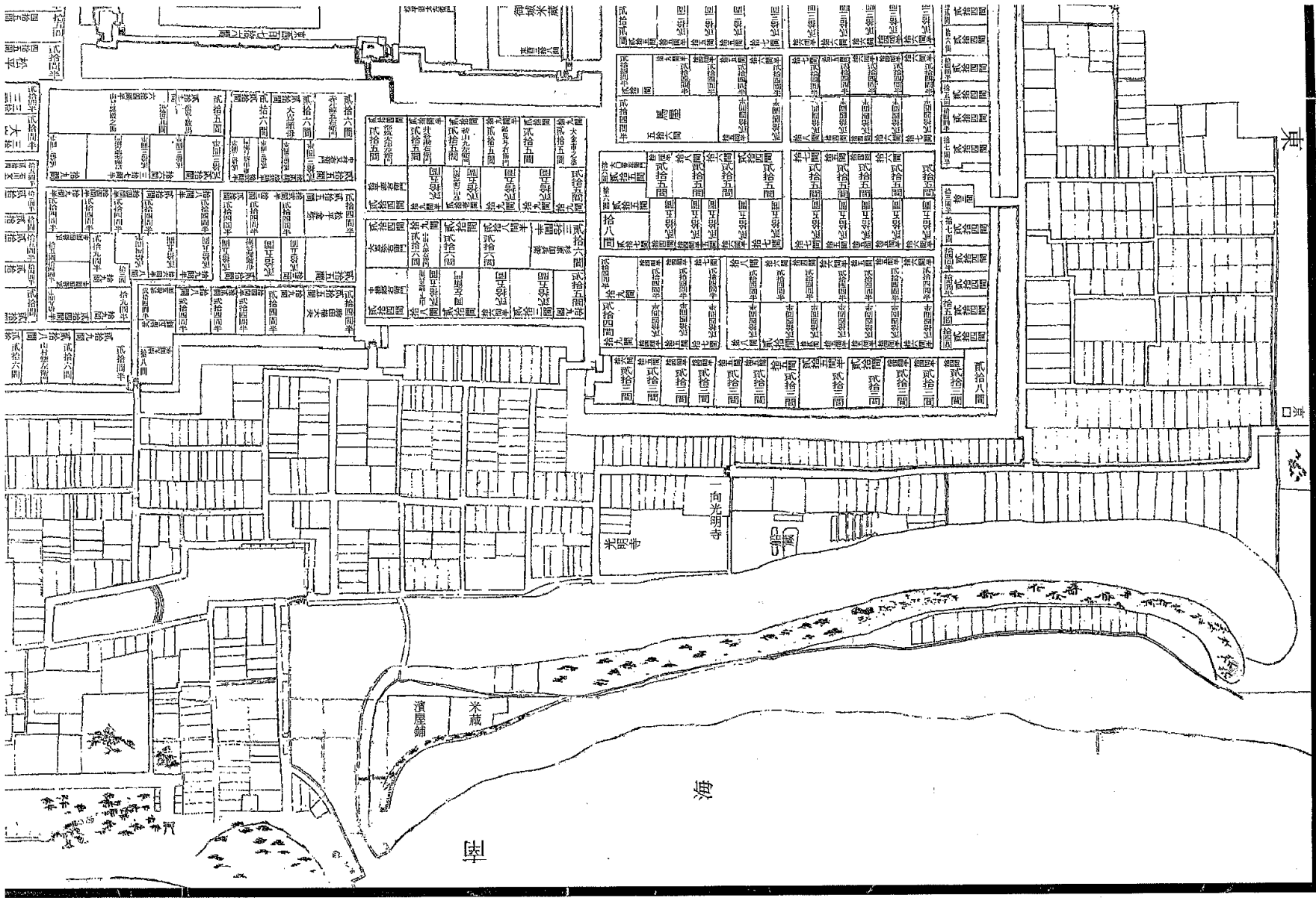






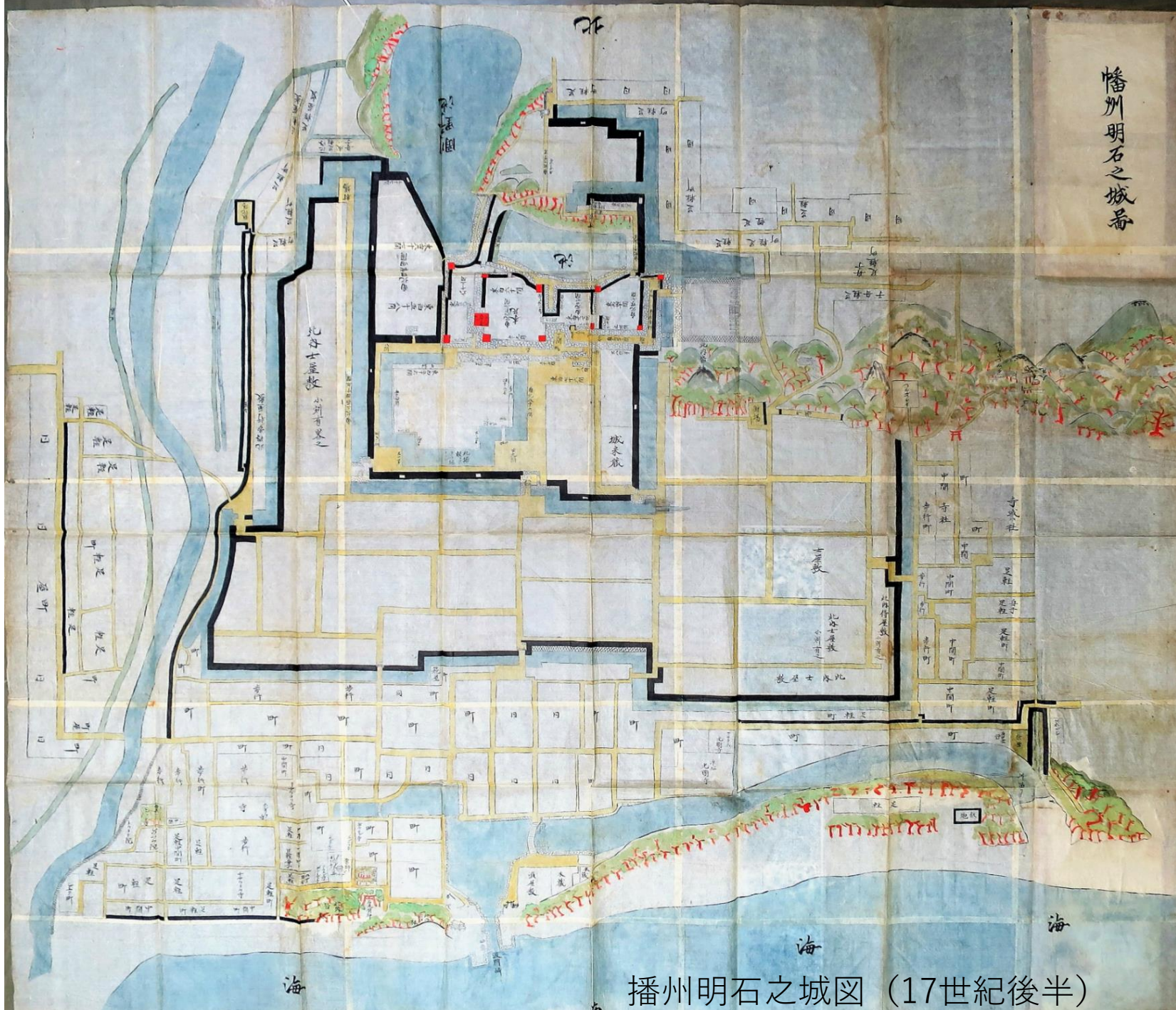


播磨国明石城図 (17世紀中)

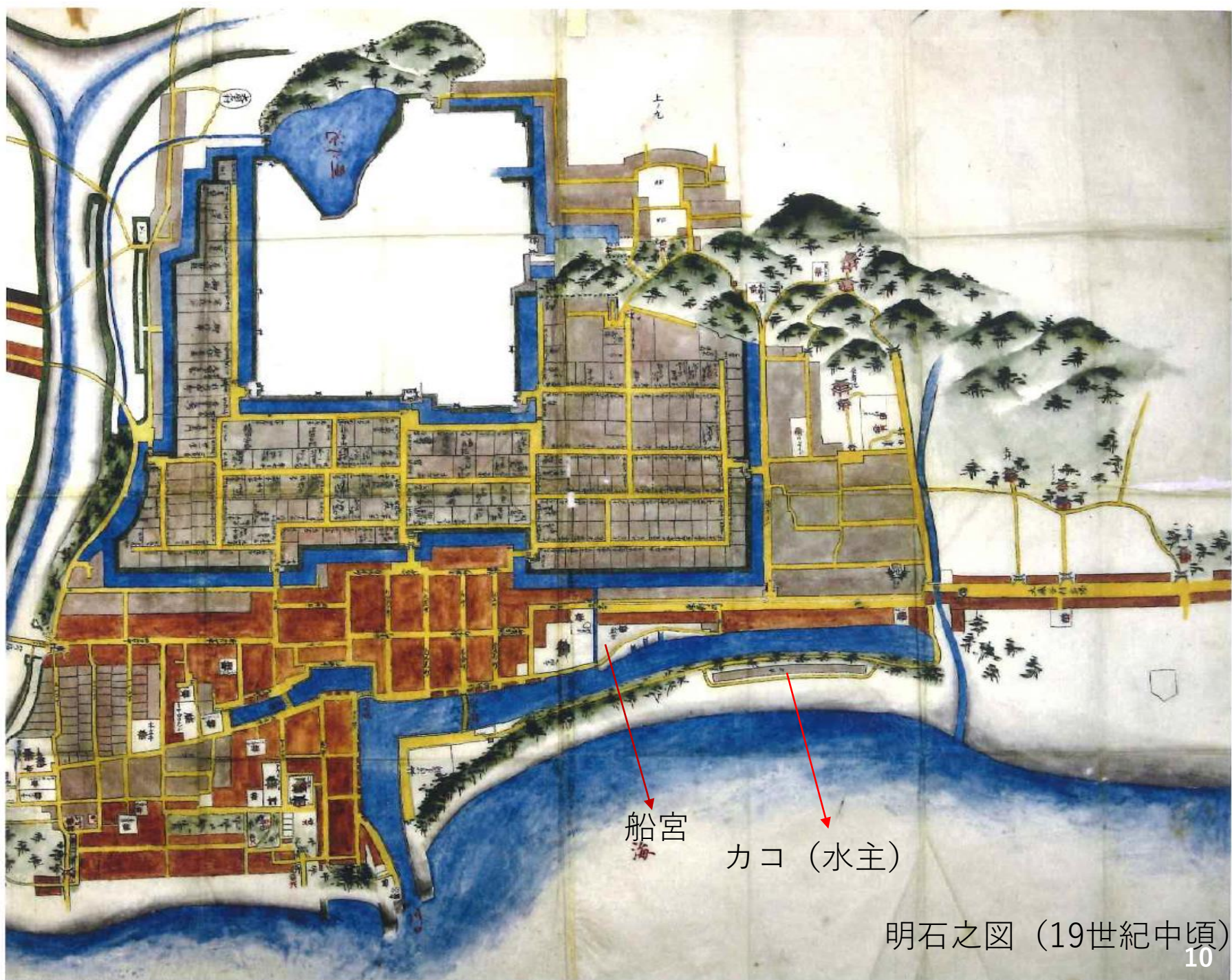


播州明石城図 (17世紀中) 8

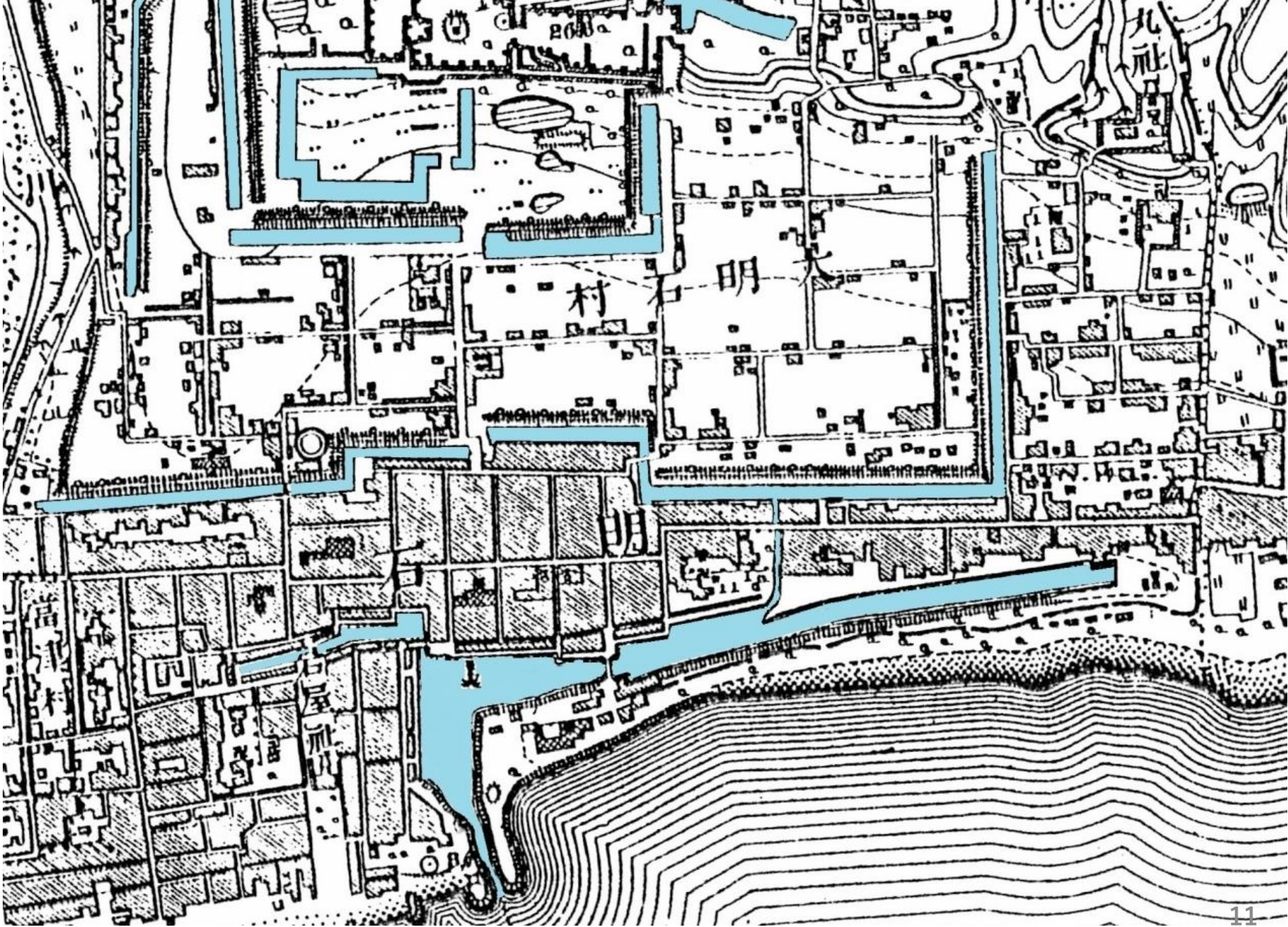
播州明石之城番



播州明石之城図 (17世紀後半)



明石之図 (19世紀中頃)





NAKASAKI PARK

明治35年明石名勝旧蹟案内図絵



明治39年（1906）





明治36年（1903）～

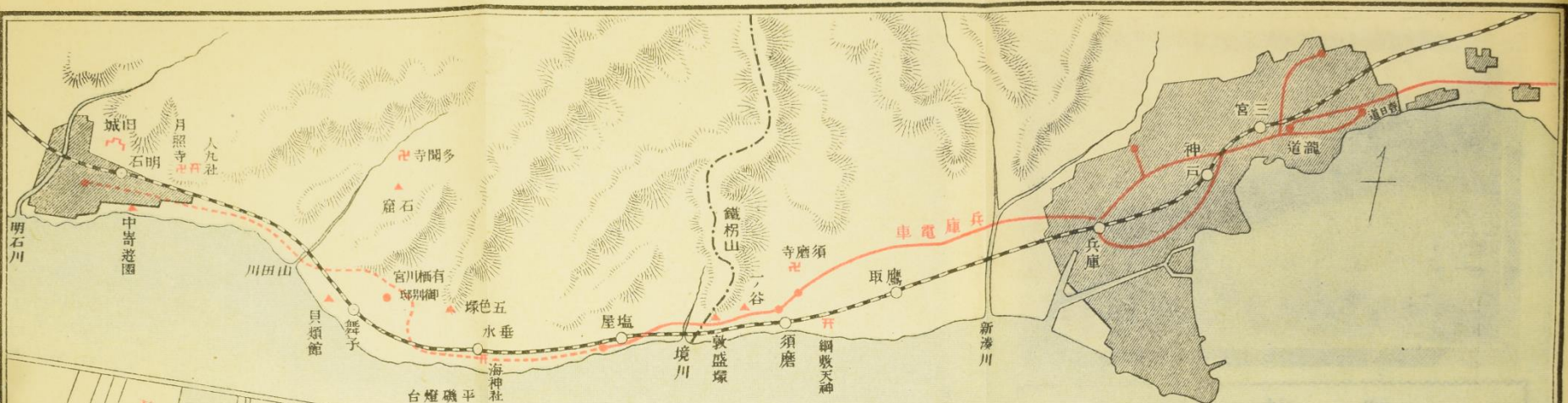


中崎公庁舎

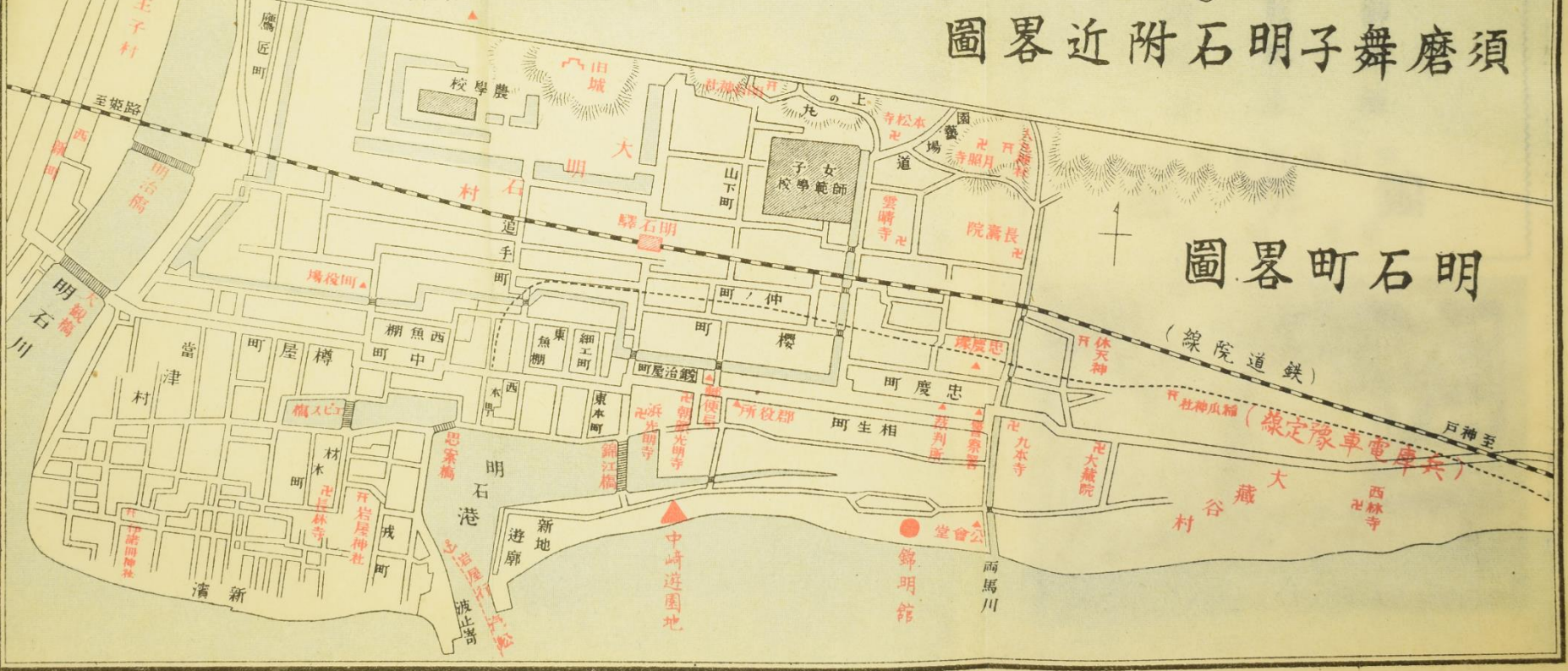
中崎公庁舎
〒760-0001 香川県高松市
中崎町1-1-1
TEL 087-821-1111
FAX 087-821-1112
www.nakagawa-city.jp



(贈寄町石明) (場會會大合組業産國全) 堂會公郡石明



須磨舞子明石附近略圖



明石町略圖





錦明館（明治40年～大正6年）20



KKC

SEAWATER-BATHROOM
HOTEL. EATHIG-HOUSE
— SYŌTŌKŪN —
AKASHI AIDITTO NAKASAKI
AKASHIGUN HARIMA JAPAN

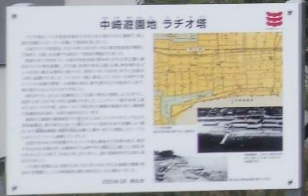
海水浴旅宿館
會席料理
明石町内相生町中嶋
衛濤館



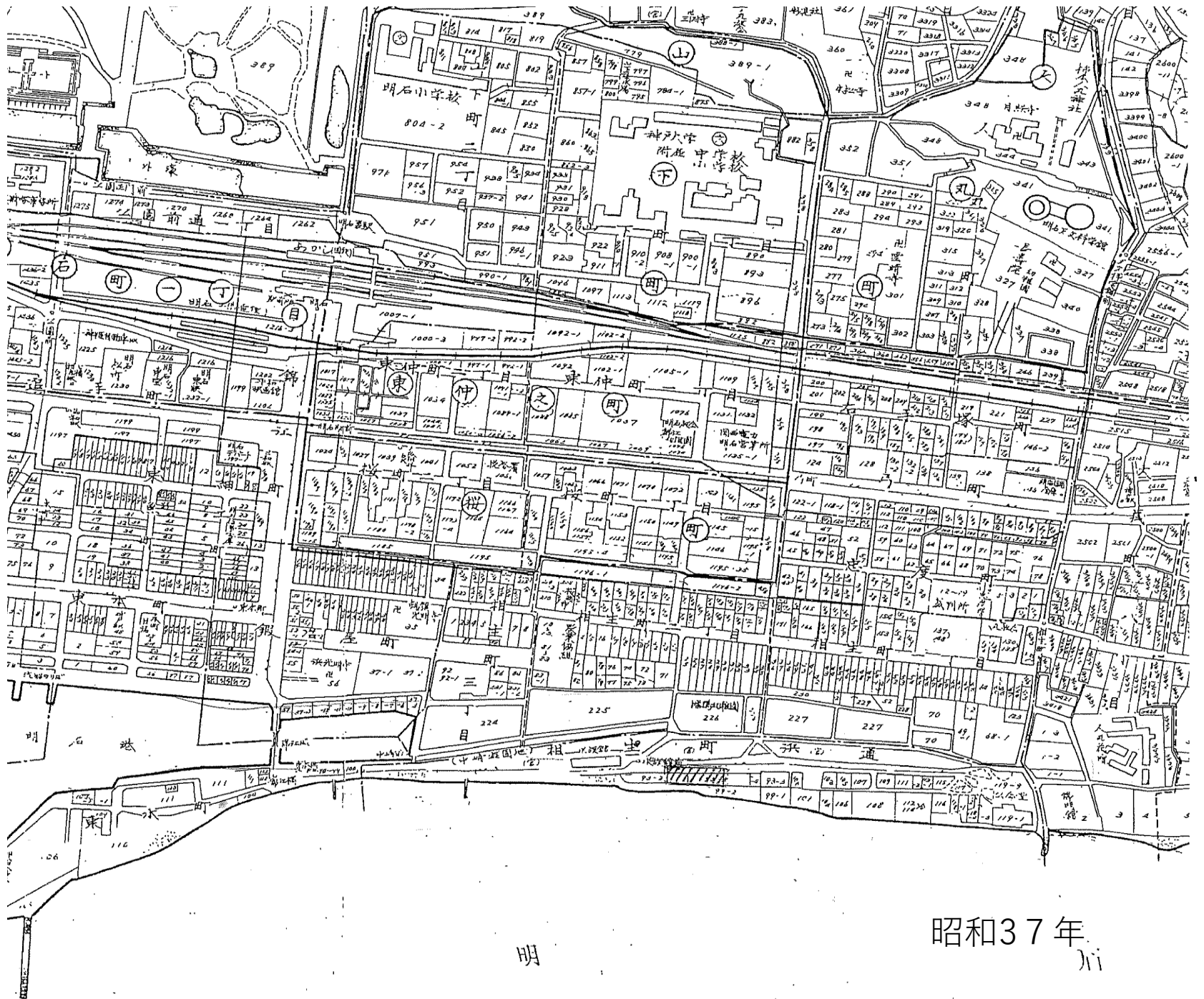




ラチオ塔







昭和37年

明

ii



中崎1丁目
Nakasaki 1chome



ここから

焼あご
三軒
ひわ正



